

報道資料

2007年11月19日

(日本時間)

中国・新奥集団がアプライド マテリアルズの
SunFab Thin Film 製造ラインを採用、ソーラー市場に参入

中国・新奥集団 (XinAo Group、以下新奥) は 11 月 14 日 (現地時間)、アプライド マテリアルズの最先端の太陽電池モジュール生産ラインを採用し、太陽エネルギー市場に参入する意向であることを発表しました。その一環として、新奥はアプライド マテリアルズから 5.7 m² ガラス基板による最新の太陽電池テクノロジーに対応した SunFab™ Thin Film 製造ラインを導入する契約を結んでいます。この製造ラインにはタンデム接合へのアップグレードオプションも設けられており、第 1 段階では生産能力 50MW の工場が中国に建設され、最終的には生産能力を 500MW とする予定です。

新奥はこの契約を 2007 年 11 月 13 日に行われた調印式で結びました。式には新奥の王玉鎖 (Wang Yusuo) 董事長 (会長) と、アプライド マテリアルズのエグゼクティブバイスプレジデント、フランツ・ヤンカーが出席しました。

王氏は次のように話しています。「太陽電池モジュールの製造は、中国をはじめ世界各国にクリーンなエネルギーを供給するという当グループの戦略の重要な一角を占めています。エネルギーの産出と利用におけるこれまでのイノベーションと経験を活かし、この再生可能な代替エネルギーソリューションを競争力ある価格で推進していきます。このプロジェクトの重要な貢献者としてアプライド マテリアルズを選んだ理由は、大型ガラス基板の処理で業界をリードしていることと、23 年にわたって中国の半導体メーカーに装置とサポートを提供してきた実績があるからです」

ヤンカーは次のように述べています。「新奥が初めて取り組むソーラープロジェクトに協力できることを嬉しく思います。当社がこの新事業の成功に役立つ、と信頼していただいたことにこそ、大きな価値があります。Applied SunFab Thin Film Line は基板サイズが 5.7 m² と、通常の太陽電池モジュールの 4 倍にも達するので、スケールメリットを活かして製造コストと設置コストを共に引き下げることが可能となります。大型基板によって、クリーンな再生可能エネルギーをコスト効率よく提供するソリューションの開発が加速するでしょう」

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています

新奥集団は、技術イノベーションによるクリーンエネルギーの統合ソリューションをリードする企業です。新奥集団はエネルギー産業のバリューチェーンを構築し、エネルギーの利用、変換、供給のすべてをカバーしています。新奥の従業員数は2万人を超え、総資産は180億人民元に上ります。中国をはじめ、オーストラリア、イギリス、アメリカなど各国の60都市以上に子会社と事務所を構えています。詳細は www.xinaogroup.com をご参照ください。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

XinAo Media
Zhenyue Zhang, 13810100474
